

かがやく進徳っ子を育てるために

鯖江市 進徳小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	3回
地域及び家庭への学校公開	12回（のべ15日）

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	31人
授業ボランティア（含：低ボラ）	7人
登下校支援ボランティア（見守り隊）	約120人
その他（親児の会）	10人

(3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」

具体的活動内容

① 4年生合宿通学（地域と連携した宿泊体験活動）

2学期、鯖江公民館で実施された「合宿通学」に4年生児童20名が参加し、2泊3日の日程で、親元を離れ、食事、洗濯、入浴、学習など、多くの地域ボランティアの方々に支援していただきながら貴重な体験ができた。今回は惜陰小学校児童も一緒に参加したこともあり、同じ地区に住む児童同士の交流を図ることもできた。

② 6年生バザーボランティア（地域と連携したボランティア活動）

2学期に実施した、本校PTA「はぐくみの会」主催、親子のつどい・バザーにおいて、6年生が参加して楽しむだけではなく、バザー品販売を手伝った。チケットと品物を交換する中で、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」など、たくさんの人たちとの交流が図れた。そのあとの感想でも、「たいへん面白かった」、「ご苦労様と言われるのが嬉しかった」など、満足そうであった。今後も学年に応じたボランティア活動を実施していきたい。

③ 西山ウォークラリーと花の鉢植えプレゼント（地域を知り、地域に感謝する心の育成）

毎年縦割り班（ふれあい班）活動を計画的に実施しているが、2学期に行った西山ウォークラリーでは6年生班長が各地域の皆さん（公共施設、学校医、歯科医等）に直接電話で交渉し、学校で育てた鉢植えの花をプレゼントするという企画を行った。市役所では鯖江市長とも懇談することができ、児童たちにとって思い出多い1日となった。



① 4年生合宿通学



② 6年生バザーボランティア



③ 西山ウォークラリー

成果と課題

学校が西山公園近くに立地しているという利点を生かし、西山の自然や地域の歴史、文化に触れることができ、地域の理解が深まり地域を愛する心情が育っている。様々な体験学習や行事に参加し、地域の人との交流が深まっている。

課題としては、より客観的な評価が得られるシステムの構築、教職員の資質向上（特に地域を知る研修）、基本的な生活習慣や学習習慣の定着を図るために保護者とのさらなる連携があげられる。